

行政・学校と連携した

外国籍保護者向けの日本語学習機会の創出 および 地域交流



NPO 法人 ABC ジャパン

【地域の現状】

横浜市鶴見区

市内最大の
南米出身者
コミュニティ



- ◆ 仕事優先で日本語を体系的に学ぶ機会が少ないため、在日年数が長くても日本語レベルは総じて低い。
- ◆ 働きながら子育てをしている人が参加できる日本語教室がほとんどない。

【課題】

当団体が行う生活相談によく寄せられる内容より、地域で安心して生活し、次世代を担う子ども達の進路に積極的に関わるためにには以下の課題を解決する必要がある。

- ◆ 学校や役所からの文書が読めない
- ◆ 教師や地域住民とコミュニケーションがとれない
- ◆ 生徒のニーズに合った日本語教室がない

目 標 設 定

- ◆ 定住化の進む南米出身者を中心とする外国籍保護者が、日本での子育てに対する不安を軽減し、子どもの教育に積極的に関われるようにする。
- ◆ 移民第2世代の進路選択をサポートするために、保護者に対する情報及び意識啓発を行う。
- ◆ 地域社会の各種行事に外国人住民が参加することで、地域生活を充実させる。



【取組の内容】

取組 1： コミュニケーションを主眼とした **日本語教室の開催**

《目標》

- ◎生活で必要な情報を収集し、内容を理解するためのコミュニケーションスキルを習得する。
- ◎行政や学校で使用するキーワードの理解を進めるための情報収集スキルを身につける。

《内容》

外国籍保護者を対象とした日本語教室の開催

《参加者総数》

17人（国籍別内訳 ブラジル13人 ペルー2人
ボリビア・フィリピン各1人）

《開催時間数》

67時間（全23回）



NPO 法人 ABC ジャパン

取組 2： 外国人住民向けの **生活オリエンテーションの実施**

《目標》

- ◎外国人住民の生活の質向上を目指す。
- ◎参加する支援者と学習者の意見交換の場を創出する。

《内容》

子どもの教育、特に高校・大学進学についてのガイダンス。母国と日本の食文化を学び交流を深めるための料理教室。

《参加者総数》

74人（国籍別内訳 ブラジル20人 フィリピン4人
中国8人 ボリビア・ペルー各3人 インド1人 日本35人）

《開催時間数》

19時間（全5回）

取組の成果

- ◎生活に密着した日本語や地域情報の提供を行うことができ、受講生は自信をもって生活できる日本語力を身につけられた。
- ◎普段から相談を受けている課題を事業に組み込むことで、外国籍保護者の子どもの教育への積極的参加を促すことができた。

◎ガイダンスを通して、高校・大学進学の大変さや準備の必要性などを多くの保護者に伝えることができた。

◎料理を通じて、外国人定住者と地域住民との交流を促進することができた。

【今後の課題】

◆日本語教室では生活に密着した実用的な授業を行うことができたが、生徒のニーズに完全に応えるまでには至っていないので、さらに学習者の需要によりそった内容にしたい。

◆外国人保護者が抱える子育てや生活の悩みを具体的に聞き出すことができたので、こうした情報を支援者ネットワークで共有していきたい。



障害者の方へ
障害者向けの日本語学習会の創出――地域交流
NPO法人ABC ジャパン

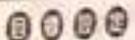
地域の現状

横浜市青葉区

障害者の方へ
地域交流
NPO法人ABC ジャパン

【課題】

- ・障害者の方たちの立場が守れない
- ・障害者の方たちがコミュニケーションが取れない
- ・障害者の方たちが社会に出ていない



- ・地域の活動を担う主体を中心とした地域交流会や、日本語学習会に対する不満を経験し、子どもの教育に地域に開かれていない
- ・障害者と地域の連携活動をサポートするため、障害者に対する情報の意識調査を行う
- ・地域社会の多様性に外国人住民が貢献したこと、地域社会を活性化

